

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：株式会社Friend-Ship

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者数や気分がすぐれない利用児がいる場合は別室を使用するなどの工夫を行っている。	・はい 16名/26名中 ・どちらともいえない 7名/26名中 ・わからない 3名/26名中 ・すべての部屋を見たことはないが狭く感じ	利用児が安全・快適に過ごせるようにしていきます。
	2 職員の適切な配置	法定通りに行っている。 必要に応じてそれ以上の人員を確保している日も多くある。	・はい 15名/26名中 ・どちらともいえない 5名/26名中 ・わからない 6名/26名中 ・STいてほしい。	STなど専門職を募集していますが未だ配置には至っていません。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	安全には十分に配慮しています。 利用者様にはわかりやすく「見える化」にしています。	・はい 16名/26名中 ・どちらともいえない 3名/26名中 ・いいえ 1名/26名中 ・わからない 6名/26名中 ・上にかかる階段が狭くて急で危ない。	階段に関しては、滑り止めをつける・昇降時は必ず職員がついているなどの配慮を行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の消毒も行い快適に過ごせるようにしています。 温度管理の徹底をしています。	・はい 21名/26名中 ・どちらともいえない 2名/26名中 ・わからない 3名/26名中 ・何回か部屋に入ったことがありますが、少し暗く感じました。	消毒の徹底をします。 部屋内に物を置かず、広く使えるようにしておきます。 暗さについては、電気を変える・外の光を取り込めるように改善いたします。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月ごと・年間の計画があります。 また改善改革委員会を設置し、周期的にTKJを行うなど業務改善に努めています。	/	今後さらにイベント後に振り返りを行うなど次回に行かせるようにしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部虐待委員会等と連携して業務改善に取り組んできました。 保護者様からへはアンケートを実施しました。	/	保護者会を積極的に行っていきます。 外部の方に研修等で入っていただきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回社内研修を実施し外部研修にも参加しています。	/	継続していきます。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	現状をふまえ保護者様や先生方の意見をいただき計画を作成しています。	・はい 26名/26名中 ・はい 24名/26名中 ・どちらともいえない 1名/26名中 ・わからない 1名/26名中	日常生活や学校生活を見学させていただき、デイとの違いなどもふまえて相互理解を行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動に関しては個々の現状を見て変化をさせていき集団活動においては今できることをより先に進めていけるようにしています。	・はい 23名/26名中 ・どちらともいえない 1名/26名中	今後、集団においては能力別にすることでより密な支援につながるよう変えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援の内容に関しては職員間での話し合いにより細かな支援を行えるようにしています。	・わからない 2名/26名中	成長に合わせて共に保護者様の意見を伺い適切な項目設定を行えるように日々の様子を記載していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別課題を設定し毎回それに対して評価を行って次回につなげています。	・はい 23名/26名中 ・どちらともいえない 1名/26名中 ・わからない 2名/26名中	情報発信をしていきます。 利用者様の成長を見ていただくため、保護者を交えたイベントをしていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	各カリキュラムの担当をきめて月ごとに活動をしています。	・はい 23名/26名中 ・いいえ 1名/26名中 ・わからない 2名/26名中	今後も毎月の担当者が中心となり課題を考えて則した支援になるプログラムを考えていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別と集団、土曜日や長期休暇は集団課題を増やして行っています。	・人数によってプログラム変更し、出来る内容を用意していただき、子供も喜んでます。 ・家族で参加型のイベントも用意していただき陶芸をして夫婦や兄弟での作品も作れて良い思い出になって作品が家でも使われています。	土曜日、長期休暇は時間が多く取れるので、外出や時間のかかる調理実習、イベント等を行っていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月のプログラム設定を行っています。		プログラムの担当者を決めて月ごとに内容を変化させていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼を全員出勤後に行い当日の支援、送迎時間、利用者様の最近の様子、問題点等を話し合っています。 参加できない職員がいる場合は連絡ノートでの引継ぎを行っています。		連絡ノート等を今後も使用し必要なことを伝えていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	朝礼時に前日引継ぎを行うこと、ヒヤリハットの使用などで振り返りと気づきの共有を行っている。		送迎等もあり、時間的に支援終了後に集まり話をすることはできないので、個別での話し合い、朝礼や休所日を活用して代用していきたい。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ヒヤリハットや経過記録の記載を行っています。		日々の中で必要な事や変化があった事等を書く担当者が記載をするように徹底していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月毎の見直しを行い保護者面談などを1年に1回設定し、変化のあったときは保護者様、学校相談支援と連携し見直しを行っています。		今後も家庭、学校、相談支援と密に連絡を行い訪問等をして計画の見直しをしてきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所や保護者様からの依頼によりケース会議等に参加しています。また、その際には管理者に限らず適切な職員が参加できるようにしている。	今後も学校、相談支援、保護者様との連携を行い担当者会議に参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	新規利用時に園などに訪問し聞き取りを行っています。日々の送迎の中に伺うことや学校訪問をさせていただいています。	今後も保護者様を通じ学級担任、支援担任と情報共有のため訪問等を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業後の進路について見学会を行うと共に説明会を行っています。	出来るだけ多くの事業者と連携を取り見学会を通じ保護者様に理解をしていただきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携が取れるよう密な連絡を心掛けています。各研修等に職員が参加しています。	より多くの職員が研修に行けるようシフト調整等を行っていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	年に一度の訪問をご家族様から依頼いただき快諾いただけたところには訪問し話し合いを行っている。近隣のイベントに参加させていただく機会も数は少ないがあった。	<ul style="list-style-type: none"> ・はい 2名/26名中 ・どちらともいえない 5名/26名中 ・いいえ 7名/26名中 ・わからない 12名/26名中

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事等で参加をさせていただいています。		地域の行事には参加できていますが、イベント等で来ていただけるようにしていきます。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	送迎時等に保護者様に日々の事を伝えると共に連絡帳に記載を行っています。	・はい 26名/26名中	写真等で見てわかるようにしていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談や訪問等で行っています。	・はい 26名/26名中	今後もより細やかな説明を心がけていきます。基本的には6か月見直しをしていますが、場合より短い期間での変更等を行うこともあり、より適切な期間で説明を行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方のみの研修を行うために準備中です。	・はい 9名/26名中 ・どちらともいえない 7名/26名中 ・いいえ 3名/26名中 ・わからない 7名/26名中	子育て支援・進学先などの情報発信を考えていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や、電話、面談、訪問で行っています。	・はい 21名/26名中 ・どちらともいえない 4名/26名中 ・わからない 1名/26名中	今後も必要に応じて回数を増やすなどして継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談窓口として各管理責任者が行っています。	・はい 21名/26名中 ・どちらともいえない 2名/26名中 ・わからない 3名/26名中	他の保護者様の意見を伺い、成長に即した助言を行っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を定期的に開催しています。	・はい 18名/25名中 ・どちらともいえない 2名/25名中 ・いいえ 2名/25名中 ・わからない 3名/25名中	保護者会等で保護者様に集まっただきやすいテーマ設定などを考えていきます。保護者会へ出てもらうために新たに代表となっただけの方にお願ひ活動を行える方向にしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	担当者から管理者へその後代表へと報告を行い即時対応しています。	・はい 15名/25名中 ・どちらともいえない 1名/25名中 ・わからない 9名/25名中 ・あまりそのようなことがまずないくらい、スタッフのケアができていると思います。 ・おそらく大丈夫と思っていますが、特に苦情もないのでわかりません。	クレームが出ないよう今後も支援体制を充実させていきます。 小さなことでも保護者様に伝え職員の対応に対しての意見を伺うことで事前に対処できるようにします。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や送迎時に対応しています。電話や送迎時にお会いする時に出来るだけ話を伺うことで利用者様の必要な情報提供の配慮を考えています。	・はい 22名/25名中 ・わからない 3名/25名中 ・連絡帳の写真はありがたいです。	視覚、聴覚、現後藤の障害によって伝わりにくいこともあることを職員全員がしっかりと認識をしてそれぞれのより伝わりやすい伝達方法を考えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	保護者会のお知らせや月間の通信配布などで発信しています。	・はい 20名/25名中 ・どちらともいえない 2名/25名中 ・わからない 3名/25名中	活動報告を伝えていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	日々のおりにふれ事業所内で個人情報についての厳密な取り扱いを伝えています。	・はい 21名/25名中 ・どちらともいえない 3名/25名中 ・わからない 1名/25名中	個人情報の漏洩を防ぐために職員間でも話し合い時に利用者様名等の配慮の必要性を伝えていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	社内研修で年2回実施しています。マニュアル作成、研修を行っています。保護者様へも個別で面談時にお伝えしています。	・はい 13名/25名中 ・どちらともいえない 6名/25名中 ・いいえ 1名/25名 ・わからない 6名/25名中	保護者様を交えての避難訓練等を行っています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	社内研修で年2回実施しています。利用者様を交えて訓練として行わず、散歩、外出として避難経路を確認しています。	・はい 11名/25名中 ・どちらともいえない 4名/25名中 ・わからない 10名/25名中	利用者様と一緒に避難訓練を行うことを伝えて実施します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内研修で年2回実施しています。事業所内での研修と外部での研修の参加を行っています。		定期的に研修を行い、日々の行動が今後も適切な対応を職員間で話し合っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていません。		適切な対応を行い、職員に周知徹底させていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示所は示されていませんが保護者様との間で情報共有はできています。アレルギー対応のおやつ提供や調理実習を行う前に食材の確認を行い、食器等も配慮しています。		職員全員が食材の理解、アレルギーの理解をしカリキュラム当日までに保護者様に伝えるような配慮が必要かを周知していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	必要に応じて記載している。 また、1週間に1度は必ず記載があるよう朝礼での話し合いを行っている。		毎日のデイの中で細かい部分を見て、ヒヤリハットとして挙げていくことで、各職員がより注意していくことを伝え書いていきます。